

公益財団法人天風会 令和5年度事業報告書（抜粋掲載）

令和5年度は、令和2年度から続いた新型コロナウイルス感染症が、5月に分類が季節性インフルエンザと同等の5類に変更されたこともあり、数年間中止していた行事も再開するなど、運営環境の改善が見られました。そうした全国各地での行事活性化とともに、下期には新しい試みとして、天風塾やオンラインを活用した心身統一法習慣化プログラムでも想定を上回る参加を見ました。また、賛助会でも独自行事を増やすなどして、行事の多様性が高まりました。会員入会を促進するべく導入した初年度会員制度も2年目に入り、100名近い賛助会員増加という効果が確認できました。

その他、出版、印税、動画等の施策の中では、マスコミに『運命を拓く』が取り上げられた効果として、印税が大きく伸びるなどの一時的な要因もあり、結果として経常収支は4年ぶりの黒字復活を果たすこととなりました。

内部管理体制としては、就業規則等の制定と施行により、標準的な職場環境を実現できたことは成果と認識しています。

全体としては、財団の財政上の制約はある中、可能な限り、環境の変化に柔軟に対応しつつ、天風哲学、心身統一法の普及という目的に合致した事業施策の遂行に力を注いでまいりました。

I 公益目的事業

今年度は、新型コロナウイルス感染症の分類変更を受け、当初計画されていた各行事の実施に留まらず、従来、中止されていた行事を再開するなど、状況の改善に応じて本公益目的事業の活性化を図った。

1 「心身統一法」普及事業

（1）会館行事（財団主催行事／一部オンライン行事を含む）

- ①講習会（2か月で1クールとして年間5クール。天風会館およびオンライン配信のハイブリッド方式）※賛助会員向けには開催月内のアーカイブ配信を提供。
- ②研修科（心身統一法のより深い理解を目的に年2回。ハイブリッド方式）
- ③運動法セミナー（オンラインで年間10回）
- ④天風哲学ビジネスセミナー（テーマ「人を活かす。自分を活かす」2日間）
- ⑤夏期修練会（東京会場 8月コース・9月コース各4日間）
- ⑥秋期瞑想行修会（東京会場 夏期修練会参加者を対象 2日間）
- ⑦天風塾（3名の講師が5カ月間で各5回の集中講座として提供）
- ⑧TC（Tempu creative）
 - ・女性限定のオンライン教室（2回を1クールとして年間2クール）
 - ・特別講演会「雨の日は、雨を聴く～お茶が教えてくれたしあわせ」森下典子氏
 - ・新春講演会

・キャリアアップ師との対話・朗読と解説「空の言の葉」(年間2回)

⑨特別講演会(財団講師)

⑩オンライン特別行修会

テーマ「安定打坐法の日常化」(3日間ライブ配信並びにアーカイブ配信)

⑪医学科学スタディシリーズ(ハイブリッド方式)

テーマ「生命進化と老化 その2～最近の老化の研究とアンチエイジング」近藤祥司氏

⑫社会人現役セミナー

テーマ「中村天風に学ぶメンタルヘルス・セルフケア」

(2) 委託行事

全国の各賛助会へ運営を委託し、修練会及び秋期瞑想行修会を開催。財団主催行事と同様に、新型コロナウイルス感染症の5類への変更により、従来、開催を見送っていた多武峰修練会も復活開催。

(鎌倉春期修練会、神戸夏期修練会、多武峰修練会、秋期瞑想行修会・関西会場)

(3) 賛助会行事(後援行事含む)

各賛助会で自主的に開催される講習会、行修会や勉強会等について、運営指導や助言を行った。

(4) 外部講演会

①よみうりカルチャーセンター 講座「運命を拓く」中村天風の教え

全6会場(恵比寿・錦糸町・荻窪・川越・川口・横浜)

②西宮市公民館活用促進プロジェクト(神戸の会に運営を委託)

③企業・団体からの要請を受け講演等を実施

(5) 賛助会への助成・運営支援等

①全国19 賛助会に対して活動補助金を配賦

②賛助会代表ヒアリングを事務局より実施。一般見学者への対応マニュアルなどを還元

③賛助会代表者会議を1回開催(オンライン)

2 調査研究活動

中村天風「心身統一法」の教授法の調査研究として、主に以下の活動を行った。

①教務委員会の開催(6回)

②講師ライブラリーの運用

③講師補実習の実施

④研修員選定審査会および研修員研修会(年5回)実施

⑤講師養成勉強会(年3回)の実施

⑥「心身統一法」行修リーダーの審査と育成

⑦行事プログラムの監修

⑧出版物の監修

⑨教学的研究

3 出版広報・コンテンツ事業

①財団出版物の企画・制作

財団協力図書

- ・宝島社 『中村天風 その人生と名言』
- ・宝島社 『中村天風の名言 人生を変える 120 の教え』（今川得之亮著）
- ・アスコム 『またうっかり、自分を後回しにするところだった』

②財団出版物及び監修出版物等の販売

③財団機関誌「志るべ」（月刊）の発行

④出版物の発行に向けた検討（「真人生の探究」英訳プロジェクト他）

⑤ホームページの運営

⑥広報活動 Web サイトやメールマガジン、SNS 等を活用した広報活動

⑦財団動画・音声配信サイト サブスクリプション配信は、配信業者のサービス停止を受け7月末から一旦中止

⑧財団コミュニティサイト 活性化に至らず運用を停止、サービスを9月7日に契約満了

II 収益事業等

①一般社団法人アイピーシーとの天風会館5階の賃貸契約を賃料改定の上、4年更新

②会館1階と4階を株式会社ティーケーピーに委託し、賃会議室として運用

③東京の会との地下1階一室及び行事開催時にホール等利用の賃貸契約を継続

④飲料メーカー（5社）と自動販売機設置契約を継続

⑤楽天モバイル基地局アンテナ設置を継続

III 法人運営に関する事項

1 組織 新型コロナウイルス感染防止に関するガイドラインを解除（5月8日）

事務局運営の標準となる就業規則を制定施行（7月1日）

2 会議 理事会を6回、評議員会を2回開催

各委員会及び担当理事ごとに会議を実施し各種課題の検討

3 会館設備 保守・点検・メンテナンスを実施

4 基幹業務システム開発 会員管理システム及びECサイトの検討と開発に着手

以上